

## 「里川」の認知とイメージ

### Q. あなたは「里川」を知っていますか？

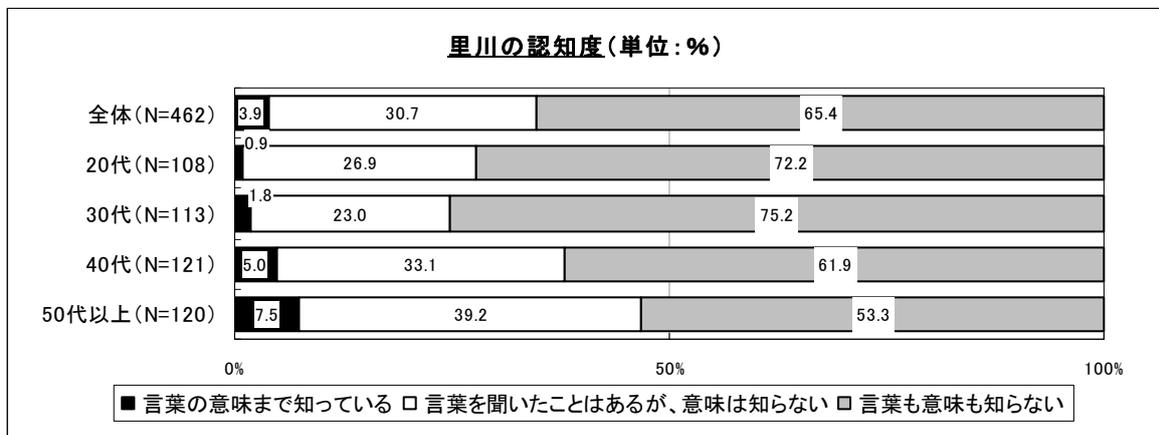
◇全体の3割強が「里川」を認知

◇世代別の認知率トップは50代以上（46.7%）

自然と人との共生の形として、数年前から「里山」に注目が集まり、全国各地で草の根運動的な「里山研究」「里山保全活動」が盛り上がっています。同様の趣旨で「水の文化センター」では2003年から人と川との関係をさぐる「里川（さとがわ）研究」を始めました。ミツカン水の文化センターでは「使いながら守る川」のことを「里川」と定義しています。

（※里川研究詳細は、ミツカン水の文化センターホームページ内にある『機関誌「水の文化」』より、15号 里川の構想<[http://www.mizu.gr.jp/kikanshi/mizu\\_15/index.html](http://www.mizu.gr.jp/kikanshi/mizu_15/index.html)>を参照ください。）

そんな「里川」の認知率を調べると、全体の34.6%が「里川」という言葉を認知。しかし、意味まで知っていると答えたのは全体の3.9%にとどまり、まだまだ認知は低い様子。世代別トップの50代以上も、認知率は半数以下の46.7%（「言葉は聞いたことがある」と「言葉の意味まで知っている」の合計）というのが現状のようです。



### Q. 「里川」のイメージは？ (10択+その他)

◇過半数が「いきものがたくさん棲んでいる川」と「清らかな水が流れる川」をイメージ

言葉の意味まで知っている人が著しく少ない「里川」ですが、その言葉からはどのような川がイメージされるのでしょうか。過半数がイメージしたのは、「いきものがたくさん棲んでいる川」(55.8%)と「清らかな水が流れる川」(53.2%)。以下、「身近と感じられる川」(35.3%)、「その場にいると気持ちが癒される川」(33.3%)などと続きました。「里川」という言葉が人々に想起させるのは、「きれいな水」と「親しみ」であるといえそうです。

